5/20 朝日

コロナ定点感染数 5類移行後初公表

厚労省「緩やかに増加」

厚生労働省は19日、新型コロナウイルスについて、一定の医療機関で継続的に把握する定点あたりの新規感染者数が、8～14日は全国で2・63人（速報値）だったと発表した。前週は1・80人（参考値）だった。厚労省は「4月上旬から緩やかな増加傾向が続いている」としている。8日にコロナの感染症法上の分類が5類に移行後、初めての公表となる。

移行後、新規感染者数の報告は全医療機関などからの毎日の全数から、全国約5千の定点からの週1回に切り替わった。

定点あたりの感染者数は全国で2・63人。全数報告されていた1～7日の感染者数を定点に置き換えると全国では1・80人だった。大型連休や、検査が一部自費になったことによる受診行動の変化の影響もあり、前週とは単純に比較できないが、国立感染症研究所の鈴木基・感染症疫学センター長は「流行拡大の局面が続いているのではないか。継続的に、流行が増えているのか、減っているのかを把握することが重要だ」と述べた。

都道府県別では、沖縄県が最多で6・07人、石川県が4・90人、北海道が4・36人だった。

8～14日の全国の新規入院患者数は2330人で横ばいだった。

分析のためのデータが十分ではないことから、現時点では全国の感染者数の推計や、季節性インフルエンザのような「流行入り」「注意報」などの基準設定はしない。

◇

表は今後の感染状況に応じて随時掲載します。

（後藤一也、藤谷和広）

■定点あたりの新型コロナウイルス感染者数（5月8～14日）

北海道	4.36	(3.32)	滋賀	1.82	(1.27)
青森	3.27	(2.47)	京都	2.03	(1.76)
岩手	3.11	(2.44)	大阪	1.85	(1.96)
宮城	3.18	(1.64)	兵庫	1.68	(0.65)
秋田	3.06	(4.35)	奈良	2.55	(0.76)
山形	3.19	(2.33)	和歌山	1.35	(0.86)
福島	3.15	(3.52)	鳥取	2.69	(1.97)
茨城	2.71	(1.67)	島根	1.61	(1.56)
栃木	2.64	(1.57)	岡山	1.50	(1.54)
群馬	2.41	(1.29)	広島	2.31	(1.91)
埼玉	3.02	(1.54)	山口	1.52	(0.66)
千葉	3.08	(1.41)	徳島	1.65	(0.70)
東京	2.40	(1.41)	香川	3.06	(1.96)
神奈川	2.33	(0.99)	愛媛	1.44	(0.92)
新潟	4.30	(3.67)	高知	1.27	(0.82)
富山	4.17	(3.21)	福岡	2.40	(2.01)
石川	4.90	(3.19)	佐賀	1.69	(1.23)
福井	1.87	(0.59)	長崎	1.93	(1.34)
山梨	4.22	(2.34)	熊本	2.06	(0.70)
長野	3.65	(4.25)	大分	2.40	(1.70)
岐阜	3.46	(4.23)	宮崎	2.07	(0.84)
静岡	2.09	(1.26)	鹿児島	1.62	(0.89)
愛知	3.42	(1.73)	沖縄	6.07	(6.52)
三重	2.17	(1.71)	総数	2.63	(1.80)

感染者数は定点医療機関からの報告に基づく。定点の数は全国約5千。カッコ内は前週。厚生労働省の集計から